

★TPP反対・地元国会議員事務所へ陳情に行こう！★プロジェクト

<<http://jump.cx/notpp>>

最も効果的だったのは、国民一人ひとりが「地元の政治家」に
コンタクトを取り、TPPの危険性を訴えることではないかと
思います。政治家にとって、地元の有権者からの声ほど影響を
受けるものではありません。 （三橋貴明氏ブログより引用）

【TPP阻止はまだ間に合う】

Facebookで2011年10月に生まれたグループ「TPPって何？」では、TPPとは何かを勉強し
議論してきました。

このTPPに重大な問題点があることを知った有志により発足した、

【TPP断固阻止】ホワイトハウス宛署名プロジェクト<<http://p.tl/oQ-G>>に加え、

★TPP反対・地元国会議員事務所へ陳情に行こう！★プロジェクト

<<http://jump.cx/notpp>>を、2011年12月、発足しました。

私たちが用意した陳情書は、著名な気鋭の経済評論家 廣宮孝信氏監修のオリジナルの
陳情書です。著作権はSNS-FreeJapanにあり、本陳情プロジェクトのみ使用できます。
プロジェクト終了期限は2012年4月末日に設定しましたが、TPPの締結は晩夏～秋を
予定していますので、締結前の国会決議まで、充分間に合います。

【陳情とは？その効果】

陳情とは、国（中央）や政党、国会議員に実情を訴えて、何かを依頼したり要望したり
することをいいます。国民は誰でも陳情できる権利を有し、陳情は一人でも可能です。
といっても永田町まで陳情に行かなくてもよいのです。

あなたのお住まいの地元国会議員事務所へ、わずかな時間で（訪問時間30分）、署名
付き陳情書を携えて陳情に行くこと、それを全国で行うことで、大きな効果を生み出し
ます。

陳情受けた議員は、賛成反対にかかわらず、陳情書の内容を知っているという前提にな
ります。これでTPP問題の核心に近づくことができます。

この地元陳情作戦に、あなたも参加してみませんか？

【陳情方法】

1. 「TPPって何？」まとめウィキ 陳情プロジェクト公式ページ
<<http://jump.cx/notpp>>（以下、陳情公式ページ）をよく読む。
2. 訪問表明、報告、一緒に陳情いくひと募集は、陳情公式ページのコメント欄
に書き込んで、情報を共有する。（ネットが苦手な方、事情がある方は
電子メール<notpp2011@g-mail.com>でのご連絡でも結構です）
3. 地元の国会議員事務所に電話し、訪問日時のアポイントをとる。
4. 陳情公式ページに示す陳情文をダウンロードし、印刷する。
5. 陳情文の陳情代表者欄に、訪問代表者が直筆で署名する。
6. 国会議員の地元秘書（又は事務員）に陳情書を直接渡して誠意を持って説明
する。